

島原市内遺跡範囲確認調査報告書 3

【令和4年度調査分】

2024年

島原市教育委員会

島原市文化財調査報告書 第22集

島原市内遺跡範囲確認調査報告書 3

【令和4年度調査分】

2024年

島原市教育委員会

はじめに

島原市には約 100 箇所の遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）があります。これら遺跡は私たちが暮らす地域の歴史を物語る貴重な国民の共有財産です。私たち一人一人にこれらを適切に保存・活用し、後世の人々に伝えていく責務があります。

島原市教育委員会では、国・県・市の公共事業に伴う開発や民間開発の際に、必要に応じ範囲確認調査等を行い、遺跡が残存する場合、開発者との協議を行い、遺跡の保護についてお願いしております。協議の結果やむを得ず保護ができない場合においては記録保存を目的とした発掘調査を実施しています。

本書は、令和 4 年度に島原市教育委員会が行った埋蔵文化財の取り扱い状況や啓発普及活動、緊急目的の範囲確認・試掘調査の結果の概要について掲載しております。本書が市民の皆様の地域の歴史や文化への理解の一助になれば幸いです。

令和 6 (2024) 年 3 月

島原市教育委員会
教育長 堀口 達也

例 言

- 1 本書は島原市における埋蔵文化財保護行政の現状と島原市教育委員会が令和4年度に実施した緊急目的の範囲確認調査・試掘調査の内容を収録している。
- 2 調査・報告書刊行は、国の国宝重要文化財等保存整備補助金(市内遺跡調査事業)及び長崎県指定文化財保存整備事業補助金を受け、島原市教育委員会社会教育課文化財保護推進室において文化財の調査、保護、活用事業として実施した。

3 調査の組織

【令和4年度】

調査主体	島原市教育委員会 教育長	森本 和孝
	島原市教育委員会 教育次長	古賀 英樹
調査統括	社会教育課長	中村 憲一
	社会教育課 社会教育文化班課長補佐	本田 貴徳
	社会教育課 文化財保護推進室長	大津 英稔
	社会教育課 文化財保護推進室主任	吉田 信也
	社会教育課 文化財保護推進室主査	林田 崇 (令和4年10月1日から)
調査担当	社会教育課 文化財保護推進室主査	吉岡 慈文
調査担当	社会教育課 文化財保護推進室主査	山下 祐雨
	社会教育課 文化財保護推進室事務員	峰 佳奈子

【令和5年度】

調査主体	島原市教育委員会 教育長	森本 和孝 (令和5年7月12日まで)
	島原市教育委員会 教育長	堀口 達也 (令和5年7月13日から)
	島原市教育委員会 教育次長	松崎 英治
調査統括	社会教育課長	中村 憲一
	社会教育課 社会教育文化班課長補佐	本田 貴徳
	社会教育課 文化財保護推進室課長補佐	松本 慎二 (令和5年8月1日から)
	社会教育課 文化財保護推進室長	大津 英稔
	社会教育課 文化財保護推進室主査	林田 崇
調査担当	社会教育課 文化財保護推進室主査	吉岡 慈文
調査担当	社会教育課 文化財保護推進室主査	山下 祐雨
	社会教育課 文化財保護推進室事務員	峰 佳奈子

- 4 調査概要の遺跡位置図は長崎県教育庁学芸文化課のウェブコンテンツ『長崎県遺跡地図』(<https://iseki.news.ed.jp/iseki/controller/iseki.php>)を使用している。
- 5 調査概要については各遺跡の調査担当者が執筆している。
- 6 発掘作業は、浅野克巳・宇土典宏・加藤健・木村光江・倉永新子・倉永敏勝・田浦哲也・中島輝幸・野田彦彦・林田シズエ・姫田壽文・町田敏夫・森本正利の協力を得て実施した。
- 7 整理作業は、林聖子・吉田敏子の協力を得て実施した。
- 8 遺物写真撮影は、山下が行った。遺構図のデジタルトレースは吉岡・山下が行った。
- 9 本書の編集は山下が行った。
- 10 範囲確認調査・試掘調査により出土した遺物や実測図等は島原市教育委員会が保管している。

凡 例

- 1 原則として遺構の測定値はm単位を使用した。
- 2 土色の表記については『新版 標準土色帖』に準拠した。
- 3 出土遺物写真は任意縮尺で掲載している。

本 文 目 次

第1章	島原市の埋蔵文化財について	3
第1節	周知の埋蔵文化財包蔵地	3
第2節	各種統計	6
第3節	啓発普及活動	8
第2章	令和4年度 調査概要	10
第1節	公共事業に伴う範囲確認調査	10
1	西川遺跡	10
2	寺中城跡	11
3	寺中B遺跡	14
第2節	民間事業に伴う範囲確認調査・試掘調査	22
1	島原城跡	22
2	東空閑城跡	25
3	東鷹野遺跡	34
4	礫石原遺跡	36
5	下の丁1973番地点	38
第3章	総括	41

第1章 島原市の埋蔵文化財について

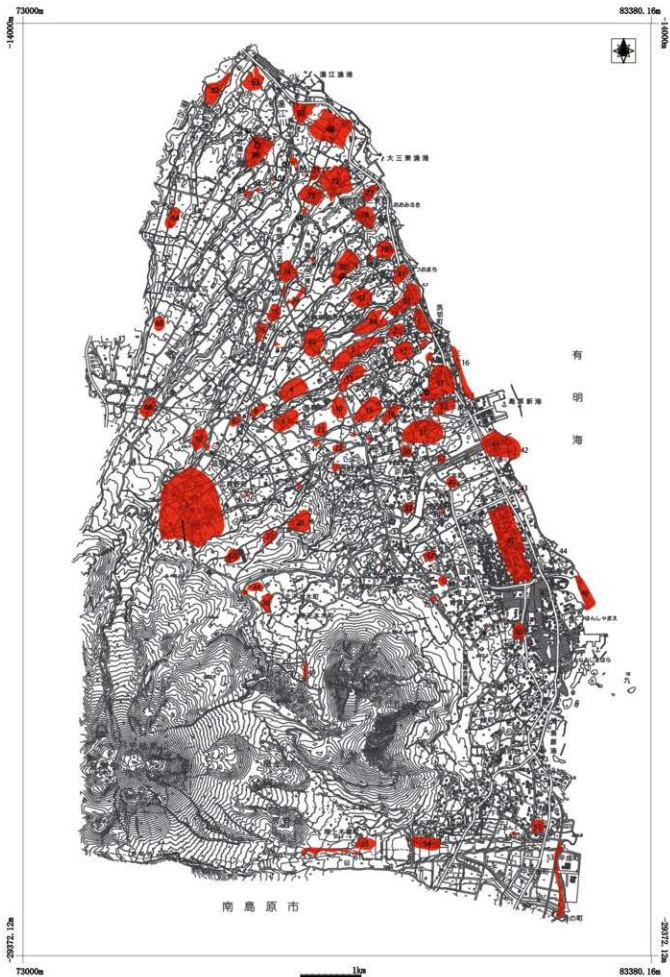
第1節 周知の埋蔵文化財包蔵地

本書刊行時現在、島原市内には103箇所の「周知の埋蔵文化財包蔵地」がある。

【表1】島原市内の「周知の埋蔵文化財包蔵地」リスト

No.	遺跡名	種別	時代
1	景華園遺跡	墳墓	弥生
2	上中野遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
3	原口B遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
4	原口A遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
5	下油堀遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
6	上油堀遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
7	礫石原遺跡	墳墓 / 集落跡	縄文
8	礫石原古墓	墳墓	古代
9	長貫A遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文
10	長貫B遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
11	寺中A遺跡	遺物包含地	弥生
12	寺中B遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
13	寺中城跡	城館跡	中世
14	中野川遺跡	遺物包含地	弥生
15	西川遺跡	遺物包含地	弥生
16	三会下町海中遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
17	畑中遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳 / 古代 / 中世
18	三会中学校遺跡	遺物包含地	縄文
19	津吹遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
20	鬼の家古墳	古墳	古墳
21	人塚古墳	古墳	古墳
22	大塚下遺跡	遺物包含地	中世
23	南橋沢遺跡	遺物包含地	弥生
24	大塚後遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
25	尻無遺跡	遺物包含地	縄文
26	大タヅ沢遺跡	遺物包含地	縄文 / 中世
27	弓弦遺跡	遺物包含地	縄文
28	立野遺跡	遺物包含地	縄文
29	坪浦遺跡	遺物包含地	縄文
30	山崎遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
31	裨田原遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生 / 中世
32	下宮遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生 / 中世
33	釘原遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
34	平の山A遺跡	遺物包含地	縄文
35	肥賀太郎遺跡	遺物包含地	縄文
36	平の山B遺跡	遺物包含地	縄文
37	丸尾城跡	城館跡	中世
38	熊野神社遺跡	生産遺跡	古代 / 中世
39	熊野神社窯跡	窯跡	近世
40	道田遺跡	墳墓	弥生
41	沖田遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
42	沖田海中遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
43	沖田畷遺跡	遺物包含地 / 祭祀跡	古墳
44	長浜台場跡	台場跡	近世
45	島原城跡	城館跡	近世
46	大手浜遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 古代 / 中世 / 近世
47	浜の城跡	城館跡	近世
48	小山倉跡	城館跡	中世
49	矢櫃遺跡	遺物包含地	縄文
50	上の原遺跡	遺物包含地	弥生
51	安徳城跡	城館跡	中世
52	上馬場遺跡	墳墓	古墳
53	中南遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生 / 古墳
54	中木場遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生 / 古墳 / 古代 / 中世

55	南上木場遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
56	大塚古墳	古墳	古墳
57	長塚古墳	古墳	古墳
58	小塚古墳	古墳	古墳
59	笹塚古墳	古墳	古墳
60	馬渡遺跡	遺物包含地	縄文
61	櫛現脇遺跡	遺物包含地	縄文
62	戸田向原遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
63	釘崎城跡	城跡	中世
64	清水山遺跡	遺物包含地	縄文
65	森岡遺跡	遺物包含地	縄文
66	二ツ石遺跡	遺物包含地	縄文
67	妙法塚遺跡	墳墓	弥生 / 古墳
68	中田遺跡	遺物包含地	縄文
69	大野浜城跡	城跡	中世
70	平山古墳	古墳	古墳
71	大野城跡	城跡	中世
72	大野原遺跡	遺物包含地 / 墳墓	縄文 / 弥生 / 古墳 / 古代
73	甘木遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳
74	上松高野遺跡	遺物包含地	弥生
75	下源在高野遺跡	遺物包含地	縄文
76	上源在高野遺跡	遺物包含地	縄文
77	東空閑城跡	城跡	中世
78	才木遺跡	遺物包含地	縄文
79	小原下遺跡	集落跡 / 遺物包含地	縄文 / 弥生 / 中世
80	小原上遺跡	遺物包含地	縄文
81	松尾遺跡	遺物包含地	古墳 / 古代
82	山ノ内遺跡	遺物包含地	古墳 / 古代
83	一野遺跡	遺物包含地 / 古墳	縄文 / 弥生 / 古墳
84	上一野遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳
85	灰ノ久保遺跡	遺物包含地	縄文
86	久原遺跡	遺物包含地	縄文
87	山ノ内上横穴古墳	古墳	古墳
88	温泉神社台地遺跡	遺物包含地	縄文
89	六人道横穴古墳	古墳	古墳
90	一本松遺跡	遺物包含地	縄文
91	弘山横穴古墳	古墳	古墳
92	庄司屋敷古墳	古墳	古墳
93	小原下B地点遺跡	遺物包含地	縄文
94	塔ノ鼻横穴遺跡	墳墓	古墳
95	国土神社裏横穴	墳墓	古墳
96	庄司屋敷遺跡	遺物包含地	弥生 / 中世
97	東鷹野遺跡	遺物包含地	縄文
98	大高野遺跡	遺物包含地	弥生 / 古墳 / 中世
99	楠沢上遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生
100	下雨粒木遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生
101	上新高野遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生
102	後久原遺跡	遺物包含地	縄文 / 弥生
103	旧鳥原藩菜園跡	菜園跡	近世



島原市遺跡地図

第2節 各種統計

1 令和4年度埋蔵文化財存否照会の統計

令和4年度の埋蔵文化財存否照会の総数は278件であった。そのうち「周知の埋蔵文化財包蔵地」内にかかる照会は46件であった。島原市においては建設部都市整備課と教育委員会社会教育課の間で建築確認申請にかかる情報を共有しており、建築確認関係では令和4年度は100件の照会を行った。

【表2】令和4年度島原市埋蔵文化財存否照会件数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
遺跡内	9	5	6	1	3	1	4	6	4	4	2	1	46
遺跡外 (隣接地)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
遺跡外	16	19	15	15	24	13	20	43	13	14	13	12	217
その他	1	0	2	1	3	1	2	2	0	0	0	1	13
合計	26	24	23	17	31	15	27	51	17	18	15	14	278

2 令和4年度埋蔵文化財発掘の届出・通知件数

令和4年度の周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の届出・通知(文化財保護法第93条・第94条)は、届出38件・通知28件であった。工事届出通知件数は、埋蔵文化財保護に対する啓発活動の強化等により増加傾向にある。中でも本市の合併処理浄化槽の設置や付替えに伴う補助拡充が始まったことに伴う浄化槽設置の届出が多かった。

開発事業に伴って島原市教育委員会が実施した範囲確認調査・試掘調査の実施件数は8件(21箇所)である。

また、無届工事は民間事業で2件、公共事業で3件の計5件確認した。令和3年度の無届工事確認件数は計1件であり増加している。再度、事業主体者に対して埋蔵文化財事務についての説明を行い、理解を求める等の取組みを積極的に行うことで埋蔵文化財保護と開発事業の双方が円滑に進むよう取組みを行っていく必要がある。

【表3】令和4年度島原市埋蔵文化財発掘の届出一覧表

No.	受理日	遺跡名	区分	事業者	届出原因	対応
1	3月17日	島原城跡	届出	個人	竹根切除	調査後慎重工事
2	4月4日	畑中遺跡	届出	個人	浄化槽設置	工事立会
3	4月4日	原口B遺跡	届出	法人	電話柱撤去	慎重工事
4	4月8日	島原城跡	届出	個人	農業用ボーリング	慎重工事
5	4月25日	庄司屋敷遺跡	届出	個人	個人住宅建替	工事立会
6	4月28日	中田遺跡	届出	法人	太陽光発電	慎重工事
7	5月10日	小原下遺跡	届出	法人	道路設置	慎重工事
8	5月11日	上の原遺跡	届出	個人	浄化槽設置	工事立会(立会前工事着手)
9	6月6日	畑中遺跡	届出	個人	個人住宅建築	慎重工事
10	6月8日	礫石原遺跡	届出	法人	太陽光発電	慎重工事
11	6月8日	東鷹野遺跡	届出	法人	太陽光発電	慎重工事
12	6月17日	一野遺跡	無届	個人	道路、水替工事(切土)	厳重注意後工事立会 (R5年度工事立会)
13	6月20日	島原城跡	届出	法人	電柱支線設置	慎重工事
14	6月23日	島原城跡	届出	法人	電柱支線取替	慎重工事
15	6月23日	景華園遺跡	届出	個人	浄化槽設置	慎重工事
16	6月24日	東空閑城跡	届出	個人	浄化槽設置	慎重工事

17	6月27日	一野遺跡	届出	個人	個人住宅建替	慎重工事
18	7月4日	灰ノ久保遺跡	届出	法人	電柱支線設置	慎重工事
19	7月14日	磯石原遺跡	届出	法人	電話柱設置	慎重工事
20	7月15日	鳥原城跡	届出	法人	ガス管撤去	工事立会
21	7月28日	大塚下遺跡	届出	法人	電柱・支線新設及び撤去	慎重工事
22	9月27日	松尾遺跡	無届	法人	浄化槽設置	厳重注意(工事立会済)
23	9月27日	松尾遺跡	届出	法人	個人住宅増築	慎重工事
24	10月14日	一野遺跡	届出	個人	浄化槽工事	工事立会
25	10月18日	小原下遺跡	届出	法人	動力負荷増設	工事立会
26	10月26日	道田遺跡	届出	個人	個人住宅建替	慎重工事
27	11月4日	中田遺跡	届出	法人	個人住宅建設	慎重工事
28	11月7日	鳥原城跡	届出	個人	個人住宅解体	慎重工事
29	11月17日	鳥原城跡	届出	法人	病院解体	工事立会
30	12月1日	榑田原遺跡	届出	個人	個人住宅新築	工事立会
31	12月5日	鳥原城跡	届出	法人	ガス管撤去	慎重工事
32	12月8日	鳥原城跡	届出	法人	庭撤去・樹木抜根	慎重工事
33	12月23日	鳥原城跡	届出	法人	個人住宅建築	R5年度工事立会
34	2月6日	鳥原城跡	届出	個人	浄化槽設置	工事立会
35	2月10日	妙法塚遺跡	届出	個人	浄化槽設置	慎重工事
36	2月16日	鳥原城跡	届出	個人	個人住宅新築	慎重工事
37	2月17日	一野遺跡	届出	個人	個人住宅新築	慎重工事
38	3月8日	鳥原城跡	届出	法人	切土	工事立会
39	3月17日	鳥原城跡	届出	法人	ガス管移設	R5年度工事立会

【表4】令和4年度鳥原市埋蔵文化財発掘の通知一覧表

No.	受理日	遺跡名	区分	事業者	届出原因	対応
1	4月1日	鳥原城跡	通知	県教委	埋設配管盛替	工事立会
2	4月1日	鳥原城跡	通知	県教委	エレベータ新設	調査後慎重工事
3	4月1日	大塚後遺跡	通知	振興局	区画整理	慎重工事
4	4月1日	大塚下遺跡	通知	振興局	区画整理	工事立会
5	4月18日	鬼の家古墳	通知	振興局	アスファルト舗装工	慎重工事
6	6月15日	大野城跡	通知	市教委	埋設管設置	慎重工事
7	7月21日	榑田原遺跡	通知	振興局	ボーリング	慎重工事
8	8月9日	寺中A遺跡	通知	振興局	現場打函渠工、 地盤改良工	本調査(県埋蔵文化財センター 鳥原分室実施)
9	8月18日	大高野遺跡	通知	振興局	現場打函渠工、 地盤改良工	慎重工事
10	8月24日	上新高野遺跡	通知	振興局	掘削工	慎重工事
11	8月24日	原口B遺跡	通知	振興局	掘削工	慎重工事
12	10月14日	三会中学校遺跡	通知	市教委	テニスコート改修工事	慎重工事
13	10月17日	三会中学校遺跡	通知	市教委	側溝設置	慎重工事
14	10月18日	才木遺跡	通知	市教委	プロパン庫解体	慎重工事
15	10月27日	中田遺跡	無届	鳥原市	水道管布設工事	厳重注意
16	11月22日	鬼の家古墳	通知	振興局	道路照明設置	慎重工事
17	11月28日	鬼の家古墳	通知	振興局	道路土工、排水構造物工	慎重工事
18	11月30日	桶沢上遺跡	通知	振興局	盛土工、補強土壁工	慎重工事
19	11月30日	下甘粒木遺跡	通知	振興局	盛土工、補強土壁工	慎重工事
20	12月28日	原口A遺跡	通知	振興局	畑地かんがい施設設置 (塩化ビニル管布設)	慎重工事
21	1月30日	鳥原城跡	通知	鳥原高校	カーブミラーの移設	慎重工事
22	2月2日	三会中学校遺跡	通知	市教委	止水バルブ取替	慎重工事
23	2月7日	鳥原城跡	通知	市教委	タイヤ遊具撤去	慎重工事
24	2月8日	大野城跡	通知	市教委	給水管敷設	慎重工事
25	2月20日	鳥原城跡	通知	鳥原市	電線管理設	R5年度工事立会
26	3月6日	灰ノ久保遺跡	通知	振興局	現場打函渠工、 地盤改良工	慎重工事
27	3月27日	榑田原遺跡	無届	鳥原市	住宅解体、敷地造成	厳重注意
28	3月27日	鳥原城跡	無届	鳥原市	住宅解体	厳重注意

島原市教育委員会が、文化財保護法第99条第1項の規定に基づき実施した発掘調査について通知した件数は7件である。民間開発計画予定地で4件事前の範囲確認調査・試掘調査を実施した。また、島原振興局が事業主体である中原・寺中地区の基盤整備事業に関連し、事前の範囲確認調査を西川遺跡・寺中城跡・寺中B遺跡の3件で実施した。

【表5】令和4年度島原市埋蔵文化財発掘の99条通知一覧表

No.	通知日	遺跡名	調査原因	備考
1	4月26日	東空閑城跡	桜植樹計画予定	範囲確認調査後計画変更（現地保存）
2	5月23日	東鷹野遺跡	太陽光発電計画予定	範囲確認調査後慎重工事対応（別途93条提出）
3	5月23日	磯石原遺跡	太陽光発電計画予定	範囲確認調査後慎重工事対応（別途93条提出）
4	5月31日	下の丁1973番地点	土地売買	試掘調査後工事
5	6月7日	西川遺跡	中原・寺中地区基盤整備事業	継続協議
6	6月15日	寺中城跡	中原・寺中地区基盤整備事業	継続協議
7	7月27日	寺中B遺跡	中原・寺中地区基盤整備事業	継続協議

第3節 普及啓発活動

【表6】現地説明会・講師対応など

No.	内容	対象	日時	場所
1	文化財めぐり 出前講座	一般	4月22日	旧島原藩薬園跡・本光寺
2	薬園跡の薬草教室 うめジャム作り	一般	5月12日	旧島原藩薬園跡
3	薬園跡の薬草教室 うめジャム作り	一般	5月13日	旧島原藩薬園跡
4	松平家の女性たち 女性学級	一般	5月16日	三会公民館
5	歴史学習 高齢者学級	一般	5月17日	三会公民館
6	縄文の里見学・東空閑城跡 発掘現場見学	一般	5月21日	縄文の里・東空閑城跡
7	東空閑城跡 発掘現場説明会	一般	5月22日	東空閑城跡
8	島原城探訪 女性学級	一般	5月26日	森岳公民館・島原城跡
9	島原城の話 女性学級	一般	6月8日	霊丘公民館
10	歴史学習 高齢者学級	一般	6月8日	杉谷公民館
11	有明歴史民俗資料館・縄文の里 見学	小学生	6月24日	有明歴史民俗資料館・縄文の里
12	島原城跡の歴史について 高齢者学級	一般	6月27日	安中公民館
13	島原本光寺墓所について みらいキャンパス	一般	7月2日	森岳公民館
14	旧島原藩薬園跡の歴史について 新聞取材	一般	7月6日	島原市役所有明庁舎
15	島原の歴史を知ろう！ 女性学級	一般	7月19日	杉谷公民館
16	しまばら kids お城展	一般・ 小中学生		島原城観光復興記念館
17	お城の自由研究お助け相談室	小中学生	7月31日	島原城観光復興記念館
18	縄文の里見学	一般	8月6日	縄文の里
19	お城の自由研究お助け相談室	小中学生	8月7日	島原城観光復興記念館
20	お城の自由研究お助け相談室	小中学生	8月21日	島原城観光復興記念館
21	島原城めぐり	保育園	8月22日	島原城跡
22	薬園跡の薬草教室 薬園ウォーク（賀来家の墓参り）	一般	9月25日	旧島原藩薬園跡
23	島原城探訪 女性学級	一般	10月12日	霊丘公民館
24	縄文の里見学・火起こし体験	一般・ 小中学生	10月16日	縄文の里・有明総合文化会館
25	三会めぐり 女性学級	一般	10月17日	三会地区
26	薬草園とアサギマダラ 女性学級	一般	10月21日	森岳公民館
27	島原城めぐり 県内小学校修学旅行	小学生	10月21日	島原城跡・鉄砲町
28	三会地区の史跡めぐり	小学生	10月22日	三会地区
29	薬園跡の薬草教室 アサギマダラの観察会	一般	10月23日	旧島原藩薬園跡
30	島原城跡天守についてのインタビュー	小学生	10月25日	Web会議
31	しまばら kids お城展 展示解説・島原城めぐり	一般・ 小中学生	11月5日	島原城観光復興記念館・島原城跡
32	しまばら kids お城展 展示解説・島原城めぐり	一般・ 小中学生	11月6日	島原城観光復興記念館・島原城跡
33	縄文の里見学 女性学級	一般	11月7日	縄文の里

34	本光寺見学 女性学級	一般	11月15日	杉谷公民館
35	薬園跡の薬草教室 ゆずジャム作り	一般	11月18日	旧島原藩薬園跡
36	健康ウォーク 出前講座	一般	11月24日	旧島原藩薬園跡・本光寺
37	文化財めぐり 熱内公民館講座	一般	12月2日	二本木神社ほか
38	真正院・春-松平忠雄を愛した女性の物語- 郷土史を学ぼう会	一般	12月24日	島原図書館
39	薬園跡の薬草教室 ネズミモチコーヒー作り	一般	1月13日	旧島原藩薬園跡
40	薬園跡の薬草教室 ネズミモチコーヒー作り	一般	2月3日	旧島原藩薬園跡
41	薬園跡の薬草教室 だいたいマーマレード作り	一般	2月10日	旧島原藩薬園跡
42	勾玉作り・拓本作り 子どもジュニアリーダー研修	小学生	3月19日	舞岳山荘
43	島原城跡 堀の説明	高校生	3月28日	島原市役所



歴史学習 高齢者学級



島原城探訪 女性学級



本光寺見学 女性学級



薬園跡の薬草教室 アサギマダラの観察会



縄文の里見学 女性学級



東空関城跡 発掘現場説明会

第2章 令和4年度 調査概要

第1節 公共事業に伴う範囲確認調査

1 西川遺跡

所在地：島原市亀の甲町乙 94-1

調査期間：令和4年6月7日～令和4年6月9日

調査面積：3.6㎡

調査原因：中原・寺中地区基盤整備事業

調査担当：吉岡

調査概要：

基盤整備前の確認調査として西川遺跡において調査を行った。西川遺跡は島原市三会地区を流れる西川の下流域に所在する遺跡であり、現在は田畑として利用されている。当該遺跡は弥生時代の遺跡として周知されており、肥前型器台が出土したことも報告されている（宮崎 2015）。

令和3年度の範囲確認調査では3層上面にて2基の不明遺構を確認している（島原市教育委員会 2023）。

令和4年度は、令和3年度調査地の東側に隣接する畑地に3.6㎡（2m×1.8m）の調査坑（TP2）を設定し表土から人力掘削した。

調査の結果、表土直下の客土が表土下1.8m以上まで続いている。作業の安全を考慮しこの深度で掘削を終了した。

当該地は、周辺の畑地と比べて面積が広く、過去の段階で畑地を拡大したと考えられる（調査中、地権者より造成し直したことを確認）。今回確認した客土についても畑地造成に伴うものと考えられる。

【参考文献】

島原市教育委員会 2023『島原市内遺跡範囲確認調査報告書2【令和3年度調査分】』島原市文化財調査報告書第21集

宮崎貴夫 2015「台付甕と透かしをもつ器台の成立と消滅」『有明海とその周辺をめぐる弥生時代の交流』長崎県考古学会・九州考古学会合同研究大会



西川遺跡 調査位置図



西川遺跡 調査坑配置図



西川遺跡 TP2 周辺 (北から)



西川遺跡 TP2 完掘状況 (南から)

2 寺中城跡

所在地 : 島原市中野町丙1487番地

調査期間: 令和4年6月15日～令和4年6月30日

調査面積: 3.6㎡

調査原因: 中原・寺中地区基盤整備事業

調査担当: 吉岡

調査概要:

基盤整備前の確認調査として寺中城跡の一部の調査を行った。寺中城跡の東側に位置する曲輪状の平坦部に3.6㎡(2m×1.8m)の調査坑(TP8)を設定し、表土から人力掘削した。土層は大きく4層に分層した。表土以下、床土(2層)を挟み暗褐色砂礫土(Hue10YR3/3)からなる層(3層)を確認した。3層には明褐色砂質土(Hue10YR5/6)が粒状あるいはブロック状に含まれる。4層は褐色砂礫土(Hue7.5YR4/6)の層を確認(土層観察によりさらにa～dの4層に分層した)した。また、4層上面においてピット状遺構を5基確認した。SP1の底部からは珪化木が出土した。SP3からは弥生土器を中心に青磁の口縁部小片1点が出土したが、形状から樹根である可能性が高い。SP4からは弥生土器片が10点のほか炭化物片が出土した。SP5からは縄文土器片が出土した。

SP1～SP4は暗褐色砂質土(Hue10YR3/3)に褐色砂質土(Hue10YR4/6)を粒状に含む堆積であった。SP5には暗褐色砂質土(Hue10YR3/4)が堆積しており、炭化物粒を含んでいた。また、3層から4層に向かって掘り込み(SX1)を確認したが、遺物は出土せず時代や用途は不明である。

4層はいわゆる「赤土」であり、粘性・締りの強い粘性土を主体とする層で黒曜石が出土した。全体としては褐色(Hue7.5YR4/6)を呈するが、粒状あるいはブロック状に明褐色(Hue7.5YR5/6)を呈する粘性土が混じる。この堆積について、雲仙岳災害記念館の長井学芸員からは「粒状の明褐色粘性土は阿蘇4火山灰と考えられる。堆積年代としてはAT～阿蘇4に位置する層で、成因はデイサイト円礫をはじめ様々な岩石がまんべんなく混入している点からも流れ込み等の二次堆積によるものではないか。」との助言をいただいた。この助言を踏まえて考えると、4層出土の黒曜石の中には角が取れ、かつ表面が風化したものも多くみられた。黒曜石も流れ込みによりローリングされた結果であると考えられ、長井学芸員の助言を裏付けていると考えられる。以上のことから4層の年代としては旧石器時代の層である可能性が高いと言える。

周辺調査地でも、縄文・弥生の遺物や遺構を確認しているため、旧石器～弥生時代までの包含層を有する複合遺跡としての性格を有した遺跡であるといえる。



寺中城跡 調査位置図



寺中城跡 調査坑配置図



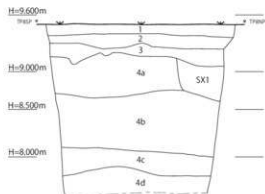
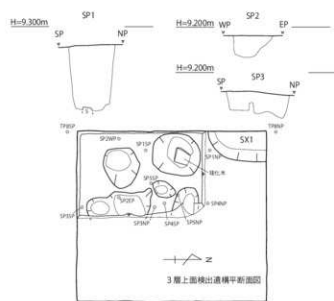
寺中城跡 TP 8 3層上面遺構完掘状況 (東から)



寺中城跡 TP 8 完掘状況 (東から)



寺中城跡 TP 8 西壁堆積状況 (東から)



寺中城跡 遺構断面・遺構配置・土層断面図 (S = 1/40)

【寺中城跡 TP 8 土層 注記】

- 1 層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)
粘性あり，しまりやや弱。極細粒砂主体の土壤。
2～5mm 大の礫を 30% 含む。
- 2 層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/4)
粘性あり，しまりやや弱。極細粒砂主体の土壤。
明褐色砂質土 (Hue7.5YR5/6) を粒状に 5% 含む。
5mm～1cm 大の礫を 30% 含む。
- 3 層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)
粘性あり，しまりやや弱。細粒砂主体の土壤。
5mm～1cm 大の礫を 7% 含む。
明褐色砂質土 (Hue7.5YR5/6) を粒状あるいはブロック状に 30% 含む。
黒曜石、弥生土器（やや摩耗あり）、陶器出土。
- 4 a 層：褐色粘性土 (Hue7.5YR4/6)
粘性強，しまり強。極細粒砂主体の粘性土。
1～3cm 大の角礫を少量含む。
黒曜石出土。
- 4 b 層：明褐色粘性土 (Hue7.5YR5/6)
粘性強，しまり強。1～3cm 大の角礫を少量含む。
明褐色粘性土 (Hue7.5YR5/8・粘性非常に強，しまり弱) を粒状に少量含む。
こぶし大の安山岩を少量含む。炭化物粒を少量含む。
- 4 c 層：褐色粘性土 (Hue7.5YR4/6)
粘性弱，しまり弱。極細粒砂主体の粘性土。
明褐色粘性土 (Hue7.5YR5/8) を粒状あるいはブロック状に中量含む。
- 4 d 層：褐色粘性土 (Hue7.5YR4/6)
粘性やや強，しまりあり。極細粒砂主体の粘性土。
1～3cm 大の礫を 15% 含む。炭化物粒を少量含む。

【SP1～3 土層注記】

- 1 層：暗褐色砂質土 (Hue10YR3/3)
粘性あり，しまりあり。極細粒砂主体の土壤。
褐色砂質土 (Hue10YR4/6) を粒状に 15% 含む。
SP1 の底部から珪化木出土。
SP3 から弥生土器（やや摩耗あり）、土師器（やや摩耗あり）、青磁、鉄滓出土。

【SP4 土層注記】

- 1 層：暗褐色砂質土 (Hue10YR3/4)
粘性あり，しまりあり。極細粒砂主体の土壤。
褐色砂質土 (Hue10YR4/4) を粒状に 30% 含む。
0.5～1cm 炭化物少量含む。
弥生土器（やや摩耗あり）、砥石出土。

【SP5 土層注記】

- 1 層：暗褐色砂質土 (Hue10YR3/4)



寺中城跡 TP 8 4a 層出土黒曜石



寺中城跡 TP 8 SP1 出土珪化木

3 寺中 B 遺跡

所在地：島原市寺中町丙 2 5 0 5 ほか 3 筆

調査期間：令和 4 年 7 月 8 日～令和 4 年 8 月 2 2 日

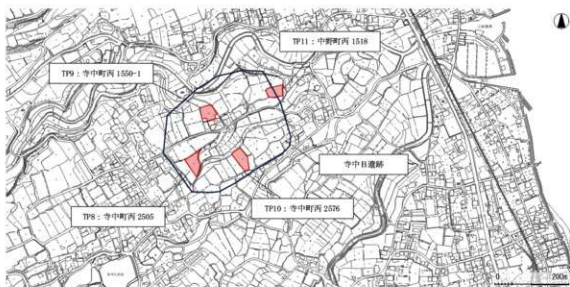
調査面積：1 4. 4 m²

調査原因：中原・寺中地区基盤整備事業

調査担当：山下

調査概要：

基盤整備前の確認調査として寺中 B 遺跡において TP8～11（幅 2 × 1.8 m）計 14.4 m²の調査を行った。寺中 B 遺跡は寺中川と中野川に挟まれた河岸段丘上に位置しており、現在は田畑として土地利用されている。現状の地形を鑑み調査坑を設定し、表土から人力掘削した。



寺中 B 遺跡 調査位置図



【寺中 B 遺跡 TP 8】

TP8 は最大掘削深度 1.8 m まで調査を行ったが、表土下位は客土を確認した。旧地形の谷底低地部分に盛土を行い、耕作地として利用されたと考えられる。

【寺中 B 遺跡 TP 8 土層注記】

1 層：表土（耕作土）

1b 層：黒褐色粘質土 (Hue2.5YR3/2) (盛土)

ややしまりなし、水分含まない。

1 mm 以下土壌主に堆積する。

2mm 赤色粒子少量含む .1 ~ 2mm デイサイト中量含む。

磁器出土。



寺中 B 遺跡 TP8 周辺 (南から)



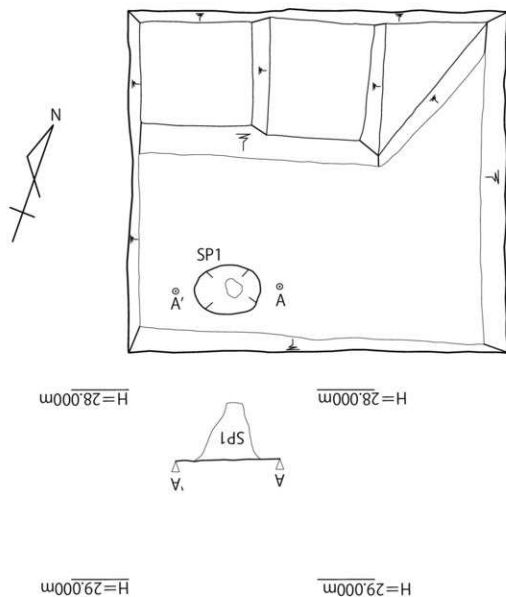
寺中 B 遺跡 TP8 完掘状況 (南西から)



寺中 B 遺跡 TP8 北東壁土層堆積状況 (南西から)

【寺中B遺跡 TP9】

TP9は最大掘削深度約1.8mまで調査を行ったところ、表土下に2層黒褐色火山灰土、3層褐色火山灰土（弥生）、4層黄褐色火山灰土（弥生か）、5層黒褐色粘質土を確認した。周辺調査結果から、2層～5層は遺物包含層と考える。遺構は4層を掘り込むピット1基（弥生）を確認した。また、TP9付近には、沖田畷の戦いの龍造寺方侍大将の供養碑と伝わる自然石が存在する。土地所有者に聞き取りをしたところ、TP9を設定した耕作地に存在したが、土地所有者らによって耕作の支障とならない現在の耕作地隅の位置に移動させたということであった。



寺中B遺跡 TP9 4層遺構配置図・SP1南側断面図(S=1/20)

【寺中B遺跡 TP 9 土層注記】

1層：表土（耕作土）

2層：黒褐色火山灰土 (Hue7.5YR3/1)

ややしまりあり，水分含まない。

1mm 以下土壤主に堆積する。

2mm 隅丸赤色粒子少量含む。

農機具（サブソイラー）の攪乱を一部受ける。

黒曜石，弥生土器（やや摩耗あり），土師器，須恵器，鉄滓出土。

3層：褐色火山灰土 (Hue10YR4/4) 弥生時代の遺物包含層

しまりあり，水分含まない。

1mm 以下土壤主に堆積する。

1mm 隅丸デイサイト少量含む。

カシノミブロック少量含む。

黒曜石，縄文土器，弥生土器（丹塗土器含む），土製紡錘車，磨石出土

4層：黄褐色火山灰土 (Hue10YR5/6) 弥生時代の遺物包含層

しまりあり，水分含まない。

1mm 以下土壤主に堆積する。

1mm 隅丸デイサイト少量含む。

1cm 隅丸デイサイト少量含む。

1cm 黄褐色 (Hue2.5YR5/6) ブロック少量含む。

黒曜石，縄文土器，弥生土器出土。

5層：黒褐色粘質土 (Hue7.5YR3/1)

ややしまりあり，やや水分含む。

1mm 以下土壤主に堆積する。

1～3mm 隅丸デイサイト少量含む。

4cm 隅丸デイサイト微量含む。

無遺物

【SP1 土層注記】

1層：暗褐色火山灰土

しまりあり，水分含まない。

1mm 以下土壤主に堆積する。

1mm 隅丸デイサイト少量含む。

褐色火山灰土 (Hue10YR4/4) 1cm ブロック少量含む。

2cm 隅丸デイサイト微量含む。

縄文土器 2点出土。



寺中 B 遺跡 TP9 周辺 (東から)



寺中 B 遺跡 TP9 4 層遺構配置 (北から)



寺中 B 遺跡 TP9 SP1 半截 (北から)



寺中 B 遺跡 TP9 完掘状況 (北から)



伝龍造寺方待大将の供養塔 (北から)



寺中 B 遺跡 TP9 西壁土層堆積状況 (東から)



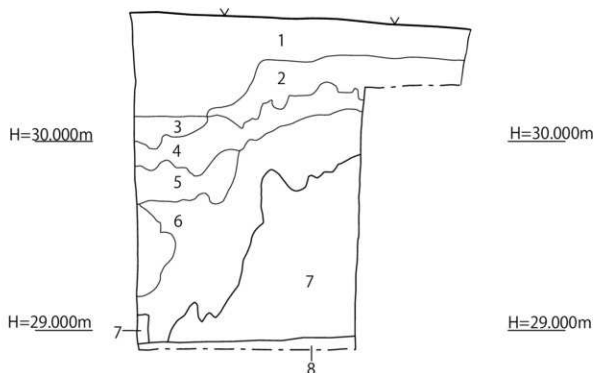
寺中 B 遺跡 (TP9) 2 層出土須恵器



寺中 B 遺跡 (TP9) 3 層出土土製紡錘車、弥生土器

【寺中B遺跡 TP10】

TP10は最大掘削深度約1.8mまで調査を行ったところ、表土下に風倒木跡（3層～5層）、7層オリーブ黒色硬質土（いわゆるカシノミ層）、8層暗赤灰色粘質土を確認した。周辺調査結果から、7層～8層は旧石器時代相当の遺物包含層と考える。遺構の確認はできなかった。



寺中B遺跡 TP10 西壁土層図 (S = 1/20)

【寺中B遺跡 TP10 土層注記】

1層: 表土 (耕作土)

2層: 明黄褐色砂質土 (Hue10YR6/6)

ややしまりあり, 水分含まない. 1mm以下土壌主に堆積する. 1mm角状デイスait中量含む, 縄文土器, 弥生土器, 土師器出土.

3層: 灰白色砂質土 (Hue10YR8/1) 風倒木跡か

しまりあり, 水分含まない. 1mm以下砂主に堆積する.

まだらに鉄分の沈着がある (灰黄色 Hue10YR6/2).

黄褐色火山灰土 (Hue10YR5/6) (5層か) のブロック少量含む.

楕円押型文土器, 縄文土器片, 安山岩製尖頭器出土.

4層: 暗褐色火山灰土 (Hue10YR3/3) 風倒木跡か

しまりあり, 水分含まない. 1mm以下土壌主に堆積する. 4cmカシノミブロック少量含む.

灰白色砂土 (Hue10YR8/1) (3層か) を微量量含む.

山形押型文土器 (やや摩耗あり) 出土.

5層: 黄褐色火山灰土 (Hue10YR5/6) 風倒木跡か

ややしまりなし, 水分含まない. 1mm以下土壌主に堆積する.

4~5cmカシノミブロック少量含む.

6層: 黒褐色火山灰土 (Hue7.5YR3/1) 風倒木跡か

ややしまりあり, 水分含まない. 1mm以下土壌主に堆積する.

2～4cm カシノミブロック中量含む .10cm カシノミブロック少量含む .

明褐色粒子 (Hue7.5YR5/6) を少量含む .

7層: オリーブ黒色硬質土 (Hue5Y3/1) いわゆるカシノミ層 (雲仙細粒降下火山灰由来か)

固くしまる . 水分含まない .1mm 角状デイスait中量含む . ブロック状に剥離する .

8層: 暗赤灰色粘質土 (Hue2.5YR3/1)

ややしまりなし , やや水分含む .1mm 以下土壌主に堆積する .1cm 角状デイスait少量含む .



寺中 B 遺跡 TP10 周辺 (東から)



寺中 B 遺跡 TP10 完掘状況 (北から)



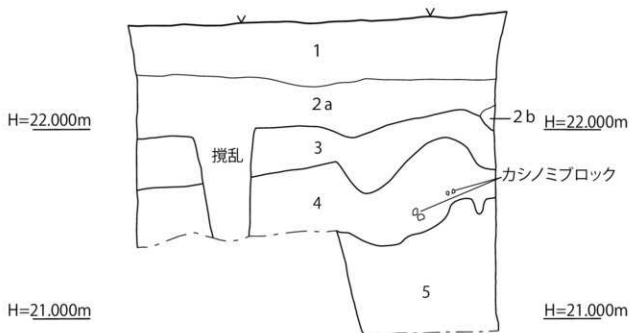
寺中 B 遺跡 (TP10) 3層出土押型文土器、安山岩



寺中 B 遺跡 (TP10) 3層出土押型文土器

【寺中B遺跡 TP11】

TP11は、最大掘削深度約1.7mまで調査を行ったところ、表土及び旧耕作土下に3層黄褐色火山灰土(弥生か)、4層黒褐色粘質土、5層オリーブ黒色硬質土(いわゆるカシノミ層)を確認した。今回の調査及び周辺調査結果から、3層～5層は遺物包含層と考える。遺構の確認はできなかった。



寺中B遺跡TP11 南壁土層図 (S=1/20)

【寺中B遺跡 TP11 土層注記】

1層:表土(耕作土)

2a層:暗褐色粘質土(Hue10YR 3/3)

しまりあり,水分含まない.1mm以下土壌主に堆積する.1mm 亜角礫状デイスイト中量含む.

1層との境に鉄分の沈着がある.

2b層:白灰色砂質土(Hue5Y7/1)

しまりあり,水分含まない.1mm以下砂主に堆積する.

黄褐色(Hue10YR5/6)火山灰土ブロック(3層か)含む.

3層:黄褐色火山灰土(Hue10YR5/6)

しまりなし,水分含まない.1mm以下土壌主に堆積する.

1mm 角礫状デイスイト少量含む.15cm 亜角礫状デイスイト少量含む.

縄文土器,弥生土器,黒曜石出土

4層:黒褐色粘質土(Hue7.5YR3/1)

ややしまりあり,やや水分含む.1mm以下土壌主に堆積する.

1~3mm 隅丸デイスイト少量含む.4cm 隅丸デイスイト微量含む.

5層:オリーブ黒色硬質土(Hue5YR3/1)いわゆるカシノミ層(雲仙細粒降下火山灰由来か)

固くしまる,水分含まない.0.1mm以下の土壌主体層.

1mm 角状デイスイト中量含む.ブロック状に剥離する.



寺中B遺跡 TP11周辺（北から）



寺中B遺跡 TP11完掘状況（北から）

第2節 民間事業に伴う範囲確認調査・試掘調査

1 島原城跡

所在地：島原市新馬場町938の一部

調査期間：令和4年5月16日～令和4年6月6日

調査面積：24㎡

調査原因：竹根除去

調査担当：吉岡

調査概要：

調査を実施した箇所は島原城跡外曲輪の北東に位置する場所である。当該地は畑地であるが竹や樹木が繁茂しており、重機による竹根除去を原因とする調査である。

調査坑は、外塁線石垣の栗石を考慮し、外塁線から6m離れた箇所に設置した。また、調査予定地には埋められた井戸もあったことから、北側に2m×8mのTP1、南側に2m×4mのTP2を設定することとした。

TP1においては4層で礫層を確認した。礫層は調査坑の東側半分には広がらず、礫層形成後に除却された可能性がある。また、礫層に含まれる瓦片はハナレ砂が多くみられ、キラコを使用したものは含まれていない。[山崎 2008]における長崎県内の近世瓦の編年によれば、県内において瓦当面にキラコがみられるのは17世紀後半からであり、当該礫層の形成も瓦当が廃棄されたと想定できる時期、すなわち17世紀後半～18世紀初頭頃であることが考えられる。

TP2においては調査坑の中央部に現代の廃棄土坑（攪乱）があったため、攪乱箇所の除去を行った。攪乱の最下部で約60cm四方の石材を確認した。石材は上面が平滑であり、中央あたりにやや挟りをもつもので、建造物に伴う礎石である可能性が高い。今回は範囲確認調査であるため、礎石の配列等、全体像の把握まではできなかったが、今回確認したこれらの遺構が島原城にどのように関連していくのか、今後の調査により明らかにしていく必要がある。

絵図資料から島原城外塁線には31基の平櫓が100m間隔を基準に定期的に設置されていたことがわかる。当該地周辺にも外塁線の内側に築かれた平櫓が描かれていることから、この礎石も平櫓に関係するものである可能性もある。また、寛文12年(1672)に土取りを行ったことや、寛政2年(1790)に石垣が崩落したことが絵図資料からわかっている。調査地においては、これら資料との関係については今後も検討が必要である。

【参考文献】

島原市教育委員会 2021 『長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画』

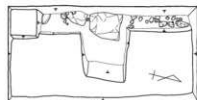
山崎信二 2008 『近世瓦の研究』 同成社



島原城跡 調査位置図



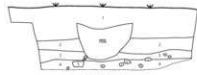
TP1 平面図



TP2 平面図



TP1 地層土層断面図



TP2 地層土層断面図

島原城跡 TP2 平断面図 (S = 1/80)



TP1 地層土層断面図

島原城跡 TP1 平断面図 (S = 1/80)

【島原城跡 TP1 土層注記】

1層: 黒褐色砂礫土 (Hue7.5YR3/2) 表土

粘性あり, しまりあり. 中粒砂主体の土壤.

2 ~ 5mm 大の礫を 70% 含む. 1 ~ 3cm 大の礫を 30% 含む.

2層: 暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)

粘性あり, しまりあり. 中粒砂主体の土壤.

2 ~ 5mm 大の礫を 50% 含む. 5cm 大の円礫を少量含む.

3a層: 暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)

粘性やや弱, しまりやや弱. 粗粒砂主体の土壤.

1 ~ 5mm 大の円礫を 70% 含む. 3 ~ 5cm 大の円礫を 10% 含む.

無遺物層.

3b層: 黒褐色砂礫土 (Hue10YR3/2)

粘性やや弱, しまりやや弱. 粗粒砂主体の土壤.

1 ~ 3mm 大の円礫を 70% 含む. 1 ~ 3cm 大の円礫を 30% 含む.

3 ~ 5cm 大の隅丸礫を少量含む.

3c層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)

粘性やや弱、しまりやや弱、中粒砂主体の土壤。

1～3mm 大の隅丸礫を 50% 含む、1～3cm 大の隅丸礫を少量含む。

4層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)

粘性やや弱、しまりやや弱、中粒砂主体の土壤。

3～5mm 大の円礫を 50% 含む、1～3cm 大の隅丸礫を 15% 含む。

礫群を充填する埋土。

5層：黒褐色砂礫土 (Hue10YR2/2)

粘性あり、しまりあり、中粒砂主体の土壤、1～2mm 大の円礫を 70% 含む。

礫群形成前の堆積と想定。

6層：褐灰色砂礫 (Hue7.5YR4/1)

粘性なし、しまりなし、粗粒砂主体の砂礫（海砂に類似）層、0.3mm 大の角閃石を中量含む。

角柱状の石英（0.3～0.5 mm 大）を多量に含む、5mm 大の円礫（安山岩質）を少量含む。

北側サブトレンチ東側に局部的に確認。

【島原城跡 TP2 土層注記】

1層：黒褐色砂礫土 (Hue10YR3/2) 表土

粘性あり、しまりあり、黒色砂礫土 (Hue10YR2/1) を帯状（層厚 16cm）に含む。

2層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/2)

粘性あり、しまりやや強、細粒砂主体の土壤、3mm～1cm 大の隅丸礫を 50% 含む。

近世瓦、近世と陶磁器出土。

3層：暗褐色砂礫土 (Hue10YR3/3)

粘性やや弱、しまりやや弱、細粒砂主体の土壤。

5mm～1cm 大の隅丸礫を 70% 含む、粗粒砂を多量に含む。

無遺物層。

4層：黒褐色砂礫土 (Hue10YR3/2)

細粒砂主体の土壤、5mm～1cm 大の円礫を 30% 含む、下部に炭化物を少量含む。

近世瓦出土



島原城跡 TP1 完掘状況（北西から）



島原城跡 TP2 完掘状況（東から）

2 東空閑城跡

所在地：島原市有明町大三東丙348番

調査期間：令和4年4月18日～令和4年5月23日

調査面積：27㎡

調査原因：桜植樹計画

調査担当：山下

調査概要：

当該地は、標高約13mの有明海を臨む台地上に位置し、市指定史跡「東空閑城跡空壕」（現指定名称「東空閑城跡」）の北東に隣接する曲輪である。周辺地形は南西から北東に向かい緩やかに傾斜している。西側には境の松川（城之江川）が流れている。東空閑城はこの境の松川を外堀に利用することを意図した選地がなされたと考えられる。また、立地する台地は雲仙岳の活動とその後の河川浸食により形成された舌状台地であり、この舌状台地を断ち切るように空堀などの防御施設が構築されていたと考えられる。

江戸時代に書かれた『島原大概様子書』の東空閑村の条には、「古城一 有馬左衛門の家来古賀越後の居住と申し伝う」と記されており、この古城が東空閑城ではないかと考えられている。

対岸の熊本県川尻に古賀越後を出自とする中林家があり、中林家の家系譜によれば、古賀（空閑）家は元々、相模国の出身で室町時代に肥前国へ下向して有馬氏に仕えた一族であることや古賀越後と息子の治部太夫が天正7（1579）年に佐賀の龍造寺隆信と戦い、親子が討死したこと、治部太夫の遺児は有馬氏に養育されて有馬内蔵介を名乗ったことなどが伝えられている（有明町1987）。

植樹予定地に1.5m×2mの調査坑を9か所設定し最大深度約1.6mまで人力掘削し調査を行ったところ、遺構は、中世の土塁2基と弥生時代以降の溝1基、時期不明のピット1基を検出した。また、近世の覆土、中世、縄文時代の明確な遺物包含層を確認した。

雲仙岳災害記念館の長井学芸員から、土塁1の主な構成物は、「溶岩や軽石を主体とする岩片、結晶や火山ガラスなどで、その多くは摩耗しており水流の影響のある場所で堆積したと考えられる」こと、その一部には、「藻や貝等と思われる石灰質の殻の一部が付着していることから、この土は波打ち際など、海岸に近い場所に堆積していたことを示す特徴がみられる」との助言をいただいた。また、土塁2のオレンジ色～褐色の土壌堆積について、「阿蘇火山の9万年前の火砕流堆積物に特徴的に含まれる長細い角閃石が認められる」ことと、「砂粒代より細かい火山灰質の淘汰の良い堆積物でブロック状の重なりも見られることから人為的な盛土の特徴がある」との助言をいただいた。

戦国時代の当地は、龍造寺氏と有馬氏が有明海の制海権をめぐる争った場所にあたる。境の松川（外堀）・平成16年度に確認した空堀（内堀）・今回確認した土塁と龍造寺氏が攻めてくる方角（西）の守りを強固にしていたと考えられる。

土塁直下の第9層には、炭化物が含まれること、ややしまりのあることなどから、土塁構築以前も城郭の曲輪として機能していた可能性が考えられる。

一連の防御施設から戦国時代の当地が龍造寺氏と有馬氏の抗争の舞台であったことがうかがえる。

また、縄文晩期頃には、生活圏の一つとしてこの台地上を利用したと考えられる。

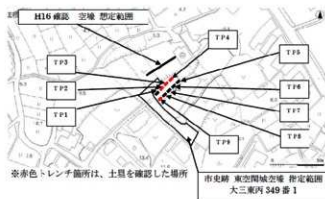
【参考文献】

有明町 1987 『有明町史』上巻

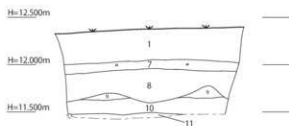
長崎県教育委員会 2011 『長崎県中近世城跡分布調査報告書Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第 207 集



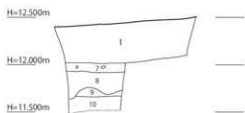
東空閑城跡 調査位置図



東空閑城跡 調査坑位置図



TP1 北西壁土層断面図 (S=1/40)

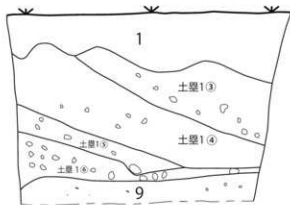


TP1 北東壁土層断面図 (S=1/40)

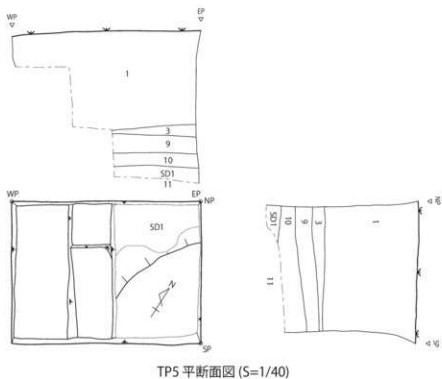
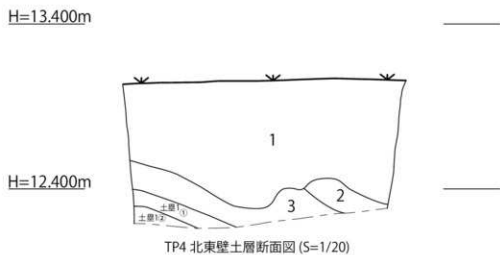
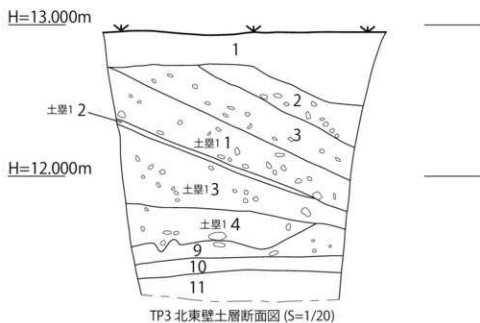
H=13.000m

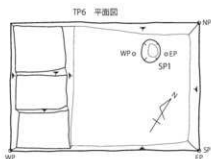
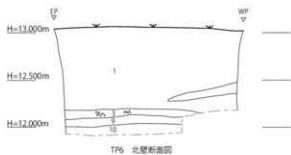
H=12.500m

H=12.000m



TP2 北東壁土層断面図 (S=1/20)

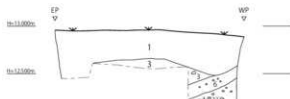
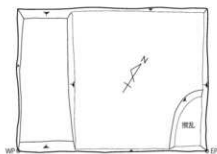




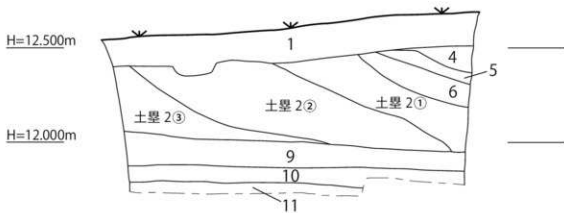
SP1断面图



TP6 平面图 · SP1 断面图 (S=1/40)



TP9 北西壁断面图



【東空閑城跡 土層注記】

- 1層：表土 耕作土
- 2層：にぶい黄橙色粘質土（Hue10YR7/2）曲輪の覆土（近世以降の遺物包含層か）
しまりあり，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する。
1cm角ブロック状白色粘質土多量含む，.05cm角ブロック状橙色粘質土少量含む。
ブロックは，水平～やや右肩上がりに堆積する。
遺物なし
- 3層：黄褐色粘質土（Hue10YR5/6）曲輪の覆土（近世の遺物包含層）
しまりあり，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する。
1cm隅丸ブロック状橙色粘質土中量含む，.2cm隅丸ブロック状灰白色粘質土中量含む。
ブロックは水平～やや右肩下がりに堆積する。
近世磁器，青磁，土鍾，弥生土器，黒曜石，安山岩出土。
- 4層：褐色粘質土（Hue7.5YR4/6）曲輪の覆土（近世の遺物包含層）
ややしまりなし，水分含まない，1mm以下土壤主に堆積する，3mm角閃石少量含む。
出土遺物なし
- 5層：明褐色粘質土（Hue7.5YR5/6）曲輪の覆土（近世の遺物包含層）
ややしまりあり，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する。
1～3cm角ブロック状橙色粘質土少量含む，1～3cm角ブロック状灰白色粘質土少量含む。
黒曜石出土。
- 6層：明褐色粘質土（Hue7.5YR5/8）曲輪の覆土（近世の遺物包含層）
ややしまりあり，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する，.2mm隅丸礫少量含む。
遺物なし。
- 7層：にぶい赤褐色粘質土（Hue5YR4/3）近世の包含層か（TP1のみで確認）
ややしまりなし，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する。
磁器出土。
- 8層：暗褐色粘質土（Hue7.5YR3/4）中世の遺物包含層（TP1のみで確認）
ややしまりなし，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する，.1mm以下白色粒子少量含む。
.3mm角閃石少量含む。
土師皿，陶器，黒曜石（ローリングあり）出土。
- 9層：黒褐色粘質土（Hue7.5YR3/2）中世の遺物包含層 土塁構築前の中世の生活面
ややしまりあり，水分含む，.1mm以下土壤主に堆積する，.3mm角状炭化物中量含む。
砂質土ブロック中量含む。
土師皿，須恵器，安山岩出土。
- 10層：黒褐色火山灰質土（Hue7.5YR3/1）中世の遺物包含層
ややしまりなし，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する。
.2mm～.1cm黄色角ブロック状粘質土少量含む，.4cm角状軽石少量含む。
ブロックの堆積方向は，水平～北に向かって傾斜する。
土師皿（耳かわらけ含む），青磁，縄文土器，弥生土器（丹塗土器含む），安山岩剥片，黒曜石剥片，
石英，軽石出土。
- 11層：暗褐色粘質土（Hue7.5YR3/3）縄文時代の遺物包含層
しまりあり，水分含まない，.1mm以下土壤主に堆積する，.1mm以下炭化物少量含む。
.3mm角閃石少量含む，.15cm隅丸デイスイト少量含む，縄文土器，黒曜石出土。

【土層1】

- 1層：灰白色粘質土（Hue10YR8/2）中世の掻き揚げ土層 土層補修した可能性あり。
しまりあり、水分含まない、1～3cm角ブロック状橙色粘質土少量含む。
1～3cm角ブロック状黄色粘質土中量含む、ブロックの堆積方向は不規則。
中国貿易陶磁（白磁）出土。
- 2層：黒褐色粘質土（Hue10YR3/2）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する、1cm角状デイサイト風化礫少量含む。
風化礫の堆積方向は不規則。
腐食土状でありことから、一時表土となった可能性ある。
遺物なし。
- 3層：にぶい黄橙色粘質土（Hue10YR7/2）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。
5mm角ブロック状赤色粘質土少量含む、5mm角ブロック状灰白色粘質土少量含む。
5mm角状デイサイト風化礫少量含む、ブロック、風化礫の堆積方向は不規則。
遺物なし。
- 4層：明黄色粘質土（Hue2.5Y6/6）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。
橙色粘質土（Hue2.5Y7/6）まだらに混ざる、3cm角ブロック状橙色粘質土少量含む。
1cm角状デイサイト風化礫少量含む、ブロック、風化礫の堆積方向は不規則。
遺物なし。
- 5層：にぶい褐色粘質土（Hue7.5YR5/4）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。
2～5cm角ブロック状橙色粘質土中量含む、ブロックの堆積方向は不規則。
遺物なし。
- 6層：明褐色粘質土（Hue7.5YR5/6）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。
橙、黄、黒褐色の角ブロック状粘質土が堆積する、ブロックの堆積方向は不規則。
遺物なし。

【土層2】

- 1層：にぶい褐色粘質土（Hue7.5YR6/3）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。
1～3cm角ブロック状橙色粘質土少量含む、1～3cm角ブロック状灰白色粘質土少量含む。
遺物なし。
- 2層：橙色粘質土（Hue5YR6/8）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する、1mm隅丸礫少量含む。
遺物なし。
- 3層：褐色粘質土（Hue7.5YR4/4）中世の掻き揚げ土層
しまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する、3mm角閃石少量含む。
遺物なし。

【SP 1】

褐色火山灰質土 (Hue10YR4/4) 時期不明

しまりあり, 水分含まない, 1mm以下土壌主に堆積する, 1mm以下白色粒子少量含む,

ブロック状暗褐色火山灰質土 (Hue10YR3/3) が混ざる,

遺物なし。

【SD 1】

にぶい黄褐色粘質土 (Hue10YR4/3) 弥生時代以降の溝か

ややしまりなし, 水分やや含む, 1mm以下土壌主に堆積する,

縄文土器 (摩耗あり), 弥生土器 (摩耗あり) 黒曜石出土。



東空閑城跡 TP1 完掘状況 (南から)



東空閑城跡 TP1 北東壁土層堆積状況 (南西から)



東空閑城跡 TP2 完掘状況 (南西から)



東空閑城跡 TP2 北東壁土層堆積状況 (南西から)



東空閑城跡 TP3 完掘状況 (南から)



東空閑城跡 TP3 北東壁土層堆積状況 (南西から)



東空閑城跡 TP4 完掘状況（南から）



東空閑城跡 TP4 北東壁土層堆積状況（南西から）



東空閑城跡 TP5 完掘状況（南西から）



東空閑城跡 TP5 北東壁土層堆積状況（南西から）



東空閑城跡 TP6 完掘状況（南から）



東空閑城跡 TP6 北東壁土層堆積状況（南西から）



東空閑城跡 TP8 完掘状況（北西から）



東空閑城跡 TP9 完掘状況（北西から）



東空閑城跡 (TP6) 1層出土土師器 (灯明皿)



東空閑城跡 (TP5) 3層出土土錘



東空閑城跡 (TP3) 土壘 1層出土土白磁



東空閑城跡 (TP6) 9層出土土師器

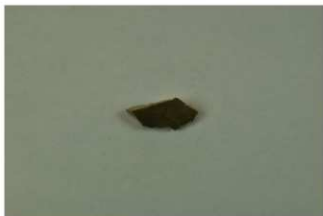


東空閑城跡 (TP6) 10層出土土師器



東空閑城跡 (TP9) 10層出土土師器 (耳かわらけ)





東空閑城跡 (TP1) 10層出土土青磁



東空閑城跡 (TP1) 11層出土縄文土器・黒曜石

3 東鷹野遺跡

所在地 : 島原市有明町大三東戊5 1 2 6 - 1 ほか2筆

調査期間 : 令和4年5月23日~令和4年5月27日

調査面積 : 7㎡

調査原因 : 太陽光発電所建設計画

調査担当 : 山下

調査概要 :

当該地は雲仙火山麓の扇状地上にあり西から東にかけてなだらかに傾斜している。調査地は、東鷹野遺跡の北端に所在し、有明町文化財調査報告書第13集『東鷹野遺跡』によって報告されている調査場所(谷)から西の尾根上に位置する。

当該地で太陽光発電所建設計画があったことから、事前に範囲確認調査を実施した。調査は高圧受電盤やパワーコンディショナー設置場所に2m×3.5mの調査坑を1か所設定し、表土から人力掘削した。

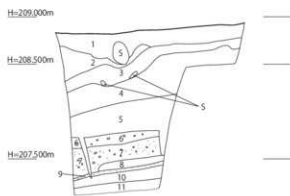
有明町文化財調査報告書第13集『東鷹野遺跡』では、六ツ木火砕流堆積物や礫石原火砕流堆積物を確認しているが、当該調査では、その確認はできなかった。当該調査では、遺構の確認はできなかった。遺物包含層(第4層)を確認したが、遺物は散漫な所在状況であった。

【参考文献】

有明町教育委員会 2001 『東鷹野遺跡』有明町文化財調査報告書第13集



東鷹野遺跡 調査位置図



東鷹野遺跡 東壁土層断面図 (S = 1/40)

【東鷹野遺跡 土層注記】

1層：表土

2層：オリーブ黒色火山灰土 (Hue5Y3/1)(平成の降灰)

ややしまりあり、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。2～5mm デイサイト多量含む。
こぶし～人頭大デイサイト中量含む。2cm デイサイト少量含む、プラスチック混ざる。

3層：黒褐色粘質土 (Hue10YR3/2)(旧表土)

しまりあまりなし、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。

4層：褐色火山灰土 (Hue10YR4/4)

しまりなし、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。縄文土器2点出土。

5層：暗褐色火山灰土 (Hue10YR3/3)

しまりなし、水分含まない、角閃石少量含む。

6層：黒褐色粘質土 (Hue10YR3/2)

固くしまる、水分含まない、1～3mm 亜角礫状デイサイト多量含む。

7層：灰オリーブ色砂礫 (Hue5Y4/2)

しまりあり、水分含まない、1～3mm 亜角礫状デイサイト多量含む。

8層：暗灰黄色砂質土 (Hue2.5Y4/2)

固くしまる、水分含まない、1mm以下土壌主に堆積する。1mm 白色粒子少量含む。

9層：灰オリーブ色砂礫 (Hue5Y4/2)

しまりあり、水分含まない、1～3mm 亜角礫状デイサイト多量含む。

10層：灰オリーブ色粘質土 (Hue5Y2/2)

しまりあり、やや水分含む、1mm以下土壌主に堆積する。

黒褐色粘質土 (Hue2.5Y3/2) がまだらに堆積する。

11層：暗褐色粘質土 (Hue10YR3/4) ややしまりあり、水分やや含む、1mm以下土壌主に堆積する。



東鷹野遺跡 完掘状況 (西から)



東鷹野遺跡 東壁土層堆積状況 (西から)



東鷹野遺跡 4層出土縄文土器

4 礫石原遺跡

所在地：島原市礫石原町甲 1201 番 120 ほか 2 筆

調査期間：令和 4 年 5 月 2 3 日～令和 4 年 5 月 2 7 日

調査面積：7㎡

調査原因：太陽光発電所建設計画

調査担当：山下

調査概要：

当該地は雲仙火山麓の扇状地上にあり西から東にかけてなだらかに傾斜している。調査地は、礫石原遺跡の西端に位置する。

当該地で太陽光発電所建設計画があったことから、事前に範囲確認調査を実施した。調査は高圧受電盤設置場所に 2 m×3 m の調査坑を 1 か所設定し、表土から人力掘削した。

表土下に黒色火山灰土を確認したが、遺物の確認はできなかった。さらに下位にはいわゆるカシノミ層を確認した。

当該地は、遺物包含層相当の黒色火山灰土の堆積は確認できるものの、遺物の確認はできなかったことから、現在の遺跡地図のとおり礫石原遺跡の辺縁地である可能性が高い。

当該地では、遺構及び明確な遺物包含層を確認することはできなかった。

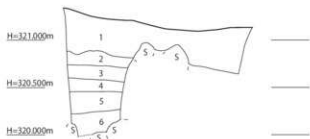
【参考文献】

長岡信治・田島俊彦 1998 「雲仙火山北麓の稗田原遺跡のテフラ層序」『稗田原遺跡Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第 145 集 長崎県教育委員会

長崎県教育委員会 2002 『県内主要遺跡内容確認調査報告書』長崎県文化財調査報告書第 165 集
山下祐雨 2023 「島原市の礫石原遺跡について」『九州旧石器』第 27 号 九州旧石器文化研究会



礫石原遺跡 調査位置図



礫石原遺跡 北壁土層断面図 (S = 1/40)

【礫石原遺跡 土層注記】

1 層：表土

2 層：暗灰褐色火山灰土 (Hue10YR3/4)

しまりなし、やや水分含む、1mm以下土壌が主に堆積する、4～8cm隅丸デイスイト多量含む、

3～5mm隅丸デイスイト中量含む、

無遺物、

3 層：暗灰褐色火山灰土 (Hue10YR3/4)

しまりなし、やや水分含む、1mm以下土壌が主に堆積する、4～8cm隅丸デイスイト多量含む、

3～5mm隅丸デイスイト中量含む、

無遺物、

4層：黒色火山灰土 (Hue10Y2/1)

しまりあり、やや水分含む、1mm以下土壌が主に堆積する、デイサイトはほぼ含まない、
無遺物。

5層：オリーブ黒色粘質土 (Hue7.5Y2/2)

ややしまりあり、やや水分含む、1mm以下土壌が主に堆積する、
3～5mm隅丸デイサイト多量含む、
無遺物。

6層：オリーブ黒色硬質土 (Hue5Y2/2) いわゆるカシノミ層 (雲仙細粒降下火山灰由来か)

固くしまる、水分含まない、
無遺物。

7層：オリーブ黒色粘質土 (Hue5Y3/1) 礫石原5層

10～30cm隅丸デイサイト多量含む (噛み合う)、その隙間に1mm以下土壌が堆積する、
無遺物。



礫石原遺跡 調査地周辺 (南から)



礫石原遺跡 完掘状況 (南から)



礫石原遺跡 北壁土層堆積状況 (南から)

5 下の丁1973番地点

所在地：島原市下の丁1973番

調査期間：令和4年5月31日～令和4年6月9日

調査面積：4.5㎡

調査原因：売買計画

調査担当：山下

調査概要：

調査地は島原城跡の西側に存在した侍屋敷（鉄砲町）内であり、絵図には2区画分の表記が確認できる。

雲仙火山麓の扇状地上であり西から東にかけてなだらかに傾斜している。その傾斜を階段状に削平し土地利用されている。当該地では見られないが、同一敷地内でも湧水帯を意識したような段差が見られる場所もある。

調査地で土地の売買計画があり、試掘調査の依頼を受けたことから調査を実施した。調査は侍屋敷の1区画につき1.5m×1.5mの調査坑を1か所ずつ、合計2か所設定し、表土から人力掘削した。

TP2では、表土の下位に第2層にぶい黄褐色砂礫〈Hue10YR5/4〉（現代の瓦、ガラス混ざる）、第3層灰オリーブ色砂質土〈Hue5Y4/2〉（無遺物）、第4層にぶい褐色砂礫〈Hue7.5Y5/4〉（無遺物）を確認した。

TP1では表土直下にコンクリート布基礎及び基礎設置時に充填された可能性のある砂礫～礫を確認した。その下位に第4層にぶい褐色砂礫を確認した。

当該地では、近世の遺構及び遺物包含層を確認することはできなかった。

当該地の現代の宅地利用で、近世の遺物包含層等は削平されていると考える。

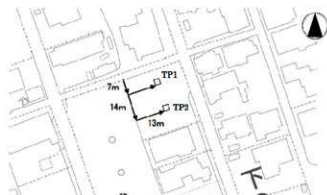
【参考文献】

島原市教育委員会 2009 『島原鉄砲町』

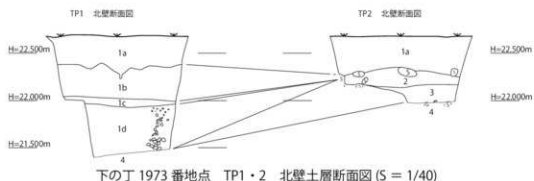
島原市教育委員会 2021 『長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画』



下の丁1973番地点 調査位置図



下の丁1973番地点 調査坑位置図



【下の丁 1973 番地点 土層注記】

1 a 層：表土

現代瓦，近世陶磁器，

1 b 層：灰褐色砂礫 (Hue7.5YR5/2)

しまりなし，水分含まない，ビニル混ざる。

西から東に向けて充填されたコンクリート基礎下部の砂基礎の可能性あり，

1 c 層：オリーブ黒色砂礫 (Hue5Y3/1)

しまりなし，水分含む，3mm以下デイスait多量含む，1mm以下の砂がデイスaitの隙間に入る。
現代のガラス混ざる。

1 d 層：暗灰黄色礫 (Hue2.5Y4/2)

しまりなし，水分含まない，2～15cm間丸デイスait多量含む，モルタル，磁器，瓦混ざる。

2 層：にぶい黄褐色砂礫 (Hue10YR5/4)

固くしまる，やや水分含まない，こぶし～人頭大のデイスait含む。

その隙間に1～3mm間丸デイスaitが充填する，現代の瓦，ガラス混ざる。

3 層：灰オリーブ色砂質土 (Hue5Y4/2)

固くしまる，やや水分含まない，鉄分が水平に沈着し横縞状に見える。

無遺物。

4 層：にぶい褐色砂礫 (Hue7.5Y5/4)

固くしまる，水分含まない，2～30cm間丸デイスait中量含む，その隙間に砂礫が充填する。
無遺物。



下の丁 1973 番地点 TP1 完掘状況 (南西から)



下の丁 1973 番地点 TP1 東壁土層堆積状況 (西から)



下の丁 1973 番地点 TP2 完掘状況 (南西から)



下の丁 1973 番地点 TP2 北壁土層堆積状況 (南から)



下の丁 1973 番地点 (TP1) 1 層出土磁器

第3章 総括

令和4年度の公共事業にかかる範囲確認調査は、中原・寺中地区基盤整備事業予定地で実施した。寺中城跡での範囲確認調査の結果、旧石器・弥生・縄文の遺物を確認したことから寺中城跡と重複した遺跡として、新たに周知する必要がある。令和3年度に調査した寺中城跡 TP 7 で出土している黒曜石製ナイフ形石器などとの関連性について今後、検討課題と考える。寺中 B 遺跡では TP9 ～ 11 にて古墳時代から旧石器時代相当の遺物包含層を確認した。今後、事業主体である長崎県島原振興局と遺跡の保護について調整を行っていく必要がある。

民間事業にかかる範囲確認調査・試掘調査では、東空閑城跡の調査結果から、中世の土塁が良好に残されていることを初めて確認できたことなどから、隣接する市指定史跡「東空閑城跡空壕」への追加指定及び名称変更について島原市文化財保護審議会に諮問し答申を受け、令和5年10月30日付けで島原市教育委員会において、調査地を含めて市指定史跡「東空閑城跡」に名称変更した。

島原城跡での範囲確認調査でも、礎石状石材を確認するなどしていることから、絵図史料等との関係について今後も検討が必要である。

令和4年度の東空閑城跡や島原城跡の調査にて確認した遺構や明確な遺物包含層について、事業計画変更等により現地保存を行うことができたことについて、関係者に厚く御礼申し上げる。また、基盤整備事業にかかり範囲確認調査成果を反映した遺跡の保護措置を最大限講じた設計の作成に尽力頂いている長崎県島原振興局に対しても感謝申し上げる。

報告書抄録

ふりがな	しまばらしなしいせきはんいかくにんちようざほうこくしょ 3							
書名	島原市内遺跡範囲確認調査報告書 3	副書名	令和4年調査分					
シリーズ名	島原市文化財調査報告書	シリーズ番号	第22集					
編著者名	山下祐雨(編著) 吉岡 慈文(著)							
編集機関	島原市教育委員会							
所在地	〒859-1492 長崎県島原市有明町大三東戊1327番地 TEL 0957-68-5473							
発行年月日	令和6年(2024)3月							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 N	東経 E	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
西川遺跡	龜の甲町	203	15	32/49/17	130/21/4	20220607～0609	3.6㎡	基盤整備事業
寺中城跡	中野町		13	32/49/25	130/21/3	20220615～0630	3.6㎡	基盤整備事業
寺中B遺跡	寺中町		12	32/49/22	130/20/53	20220708～0822	14.4㎡	基盤整備事業
島原城跡	新馬場町		45	32/47/55	130/21/55	20220516～0606	24㎡	竹根除去
東空閑城跡	有明町 大三東丙		77	32/50/46	130/20/29	20220418～0523	27㎡	桜植樹計画
東鷹野遺跡	有明町 大三東戊		97	32/48/37	130/18/36	20220523～0527	7㎡	太陽光発電所 建設計画
礫石原遺跡	礫石原町		7	32/47/51	130/18/13	20220523～0527	6㎡	太陽光発電所 建設計画
—	下の丁		—	—	32/47/28	130/21/47	20220531～0609	4.5㎡
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
西川遺跡	遺物包含地	弥生	—		—		—	
寺中城跡	城館跡 / 遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生	ピット5基、 不明遺構1基		黒曜石・縄文土器・ 弥生土器・陶磁器		継続協議	
寺中B遺跡	遺物包含地	旧石器 / 縄文 / 弥生 / 古墳	ピット1基		縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・陶磁器・黒曜石・土製 紡錘車		継続協議	
島原城跡	城館跡	近世	礫群遺構、 礎石状石材		近世陶磁器・近世瓦		慎重工事 (現地保存)	
東空閑城跡	城館跡	中世	土塁2基、溝1基、 ピット1基		縄文晩期土器、弥生土器(丹塗 土器含む)、須恵器、中世土師皿 (灯明皿、耳かわらけ含む)中世 貿易陶磁(青磁・白磁)、陶器、 近世磁器、土鏝、黒曜石、安山岩、 石英、鉄製品		計画変更によ り現地保存	
東鷹野遺跡	遺物包含地	縄文	—		縄文土器・磁器		慎重工事	
礫石原遺跡	遺物包含地	縄文	—		黒曜石・陶磁器		慎重工事	
(下の丁)	—	—	—		陶磁器		—	

島原市文化財調査報告書 第22集
島原市内遺跡範囲確認調査報告書 3
【令和4年度調査分】

発行月：令和6(2024)年 3月

編集・発行：島原市教育委員会

長崎県島原市有明町大三東戊 1327 番地

TEL：0957-68-5473

印刷：三会印刷

長崎県島原市亀の甲町 1657 - 1

TEL：0957-65-4155

